

## マタイの福音書 第16章 3節b

「なぜ時のしるしを見分けることができないのですか。」

空を見わけ、明日の天気が晴れるとか荒れ模様となる、と良く読み取るのに、どうして時のしるしの見分けがつかないのか、と問う。

酷暑の季節が終わるころトンボが一匹飛ぶ。それだけで、次の季節の近さを読み取る。しかし、時のしるしには疎いのはなぜか、と問われる。

花を見て、田畑の作業ときを見分ける。水のぬくもりを感じて種蒔き時を見分ける。稲穂の輝きを見て、収穫のときを逃さない。しかし、時のしるしをみられないのはどうしてだろうか。

それは、空を支配し、季節を導き、自然の花や実りを司る根源なるお方を知らないからだ。このお方を知り、信頼するならば、すくなくとも見分けのヒントが語られていることに気付く。仮に、時のしるしを見分けられなくても、すべてを支配するお方を知るだけでもよい。

なぜ、と言われた者たちは、支配するお方を知らないどころか試そうとした。だから、時を見失うのである。